

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h1>柔道・空手道</h1>	長門市立深川中学校（山口県） 電話番号 0837-22-2428 メールアドレス fukawa-j@nagatoedu.jp
-----------------	--

●実践研究のねらい

- 柔道と空手道へとつながる複数種目の武道指導を計画し、武道に共通する礼儀作法や精神などを学び、種目が違っていても日本固有の文化は共通であることに気付くようにする。
- 外部指導者の活用について、効果的な役割分担を模索すること、限られた単元計画内において外部指導者からの指導内容を精選すること、安全を確保した指導体制を確立することをめざす。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（3学級103名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
種目	柔道							空手道					
学習の流れ	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）							オリエンテーション	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し）				
	道着の着方		伝統的な行動の仕方、準備体操						準備体操				
	礼儀作法の学習		基本動作の学習						基本動作の学習				
	柔道の精神の学習		受け身の学習						受け身の学習				
	整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）								受け方の学習 型の学習 組手の学習				
	整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）								整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）				

●指導の工夫

1 複数武道を効果的に指導するための工夫

- 指導内容の精選
限られた時間内で生徒が楽しさや達成感を味わうことができるよう、指導内容の精選を図る。
- 生徒の視覚的な理解を促す資料の充実
模造紙に説明事項を大きく記述し、視覚的支援を用いて説明する。
- 外部指導者の充実
空手道に精通する外部指導者を複数名招聘し、より専門的な技術指導と個に応じた指導ができるようにする。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 安全な運動の行い方の理解
組手を行う上で、技を受ける側が左の前腰にキックミットを構えさせることで、技の衝撃を和らげたり、体を守ったりできるようにする。

●授業の様子



【オリエンテーション】

空手道の特性や成り立ち、流派などについて、外部指導者から指導を受けることにより、空手道への関心を高められるようにした。

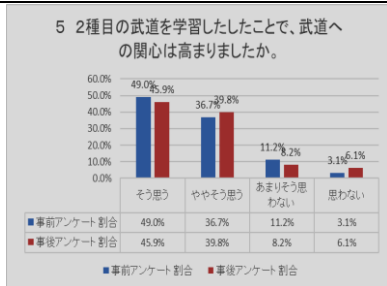


【組手】

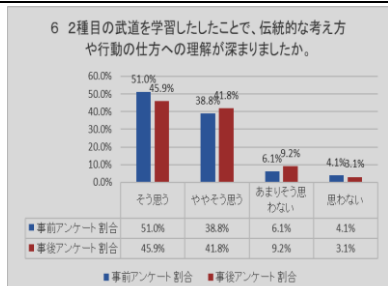
空手道の基本の突きを習得した後、組手としてキックミットに突きを行い、習得した技能について学びの実感を味わえるようにした。

●生徒の意識、感想、変容など

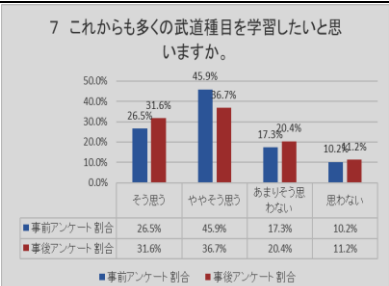
1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

- 今まで知らなかった武道の心構えや基本のことができた。日常生活でも武道の精神を生かしたい。
- 伝統的な動きや歴史を知れて、武道への関心が高まった。
- 武道を経験したことで集中力が高まった。

●成果

- 柔道から空手道につなげた学習は、礼儀や作法などに共通する点を見出すことができ、種目が違っても武道の精神は変わらないと感じることができた生徒が多かった。
- 空手道の指導においては、外部指導者の存在は大変重要である。専門性が高く、安全性にも十分配慮しながら行うことで、生徒も空手の特性や楽しさに触れることができた。

●課題

- 柔道7時間の指導計画に空手道5時間を加えた単元計画としたが、空手道の実技に関する授業が3時間であり、あと2時間程度増加できると学習がより深まると考える。そのためには、武道の中で調整するか、他領域も含め調整することが必要となるが、各領域に必要な時間数を確保しながらの単元計画の作成が課題となる。